

東京都と東京都医学総合研究所との協定に基づく取組について

- 東京都及び東京都医学総合研究所は、令和6年1月17日に「学校の居心地向上検証プロジェクト」に係る協定を締結しました。
- 本協定に基づき、モデル校において、学校において児童・生徒の居心地向上に資する取組を実施し、居心地の意識への影響等について検証します。

スタート!

「学校の居心地向上検証プロジェクト」の取組内容

- 子供の健康・発達の疫学研究に知見を有する東京都医学総合研究所と協定を締結し、教育庁と連携の下、実施

POINT
1

世界で実践されている

学校の居心地向上に向けた取組

“学校の居心地を向上させる取組”
を都立のモデル校で実践



School Climate Scale (世界的に
使用されている学校風土を測る尺度)
を参考にした
都独自の生徒への学校の居心地調査

POINT
2

子供のメンタルヘルスに関する研究を リードするヴィクラム医学博士との連携

海外の先進事例等を紹介する研修プロ
グラムを、医学研及びハーバード大学と
協力し開発の上、学校関係者に向けた
研修を実施



ヴィクラム・パテル氏
ハーバード大学医学部教授
ハーバード大学医学部国際保
健・社会医学科長

今回参考にする海外の先進的な取組: 「全校健康促進プログラムSEHER」
～世界5大医学誌の一つ“Lancet”で発表された、科学的エビデンスに基づくプログラム～

エビデンス
ベース

【学校の居心地を向上させる海外の先進事例】

<活動例>



生徒が匿名で
投票できる意
見箱を設置



学校全体で行う
活動について、グ
ループで話し合い

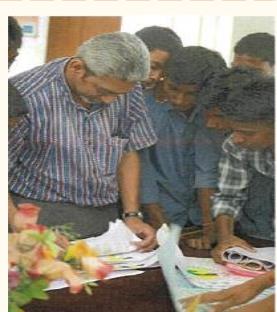


健康・勉強等に
ついて相談できる
カウンセリングの場
を設置

高い効果

- ・うつ 100点中約17点減
- ・いじめ 約90%減
- ・暴力 約85%減

学校の
居心地向上



学校での活動の様子